

2021年6月

体験学習室 No.22

けんぱくものしりシート

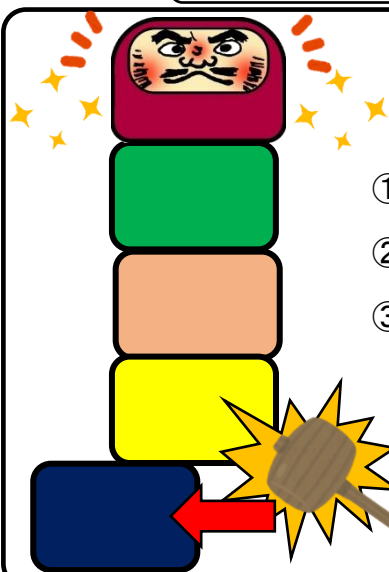
だるまおとし



だるまおとしは‘だるま’といくつかの‘つみき’をつみあげて、こぶちで1つずつ打って遊ぶ昔のおもちゃです。

だるまとは、昔インドから中国に仏教を伝えたお坊さんのことです。日本ではその座ぜん姿をまねた手足のない置物がよく見られ、転んでもすぐ起き上がるおめでたい物とされています。このだるまを最後までたおれ（転ば）ないようにつみきを落とせたら、この1年は転ばない（困難はふりかからない）ため「おめでたい」とされ、お正月に遊ばれることもあったそうです。

※1 座ぜん…座って静かに思いをこらす修行法。



基本的な遊び方

- ① つみきをつみ重ね、1番上にだるまを置く。
 - ② つみきを下から順にこぶちで打つ。
 - ③ 最後までだるまを落とさずに、つみきを打ちぬくことができれば成功！
- ※何人かで遊ぶ時は交代でつみきを打って、だれが最後までだるまを落とさないか競っても楽しいよ！



だるまおとしのコツ

水平に・すばやく・強く打つ!



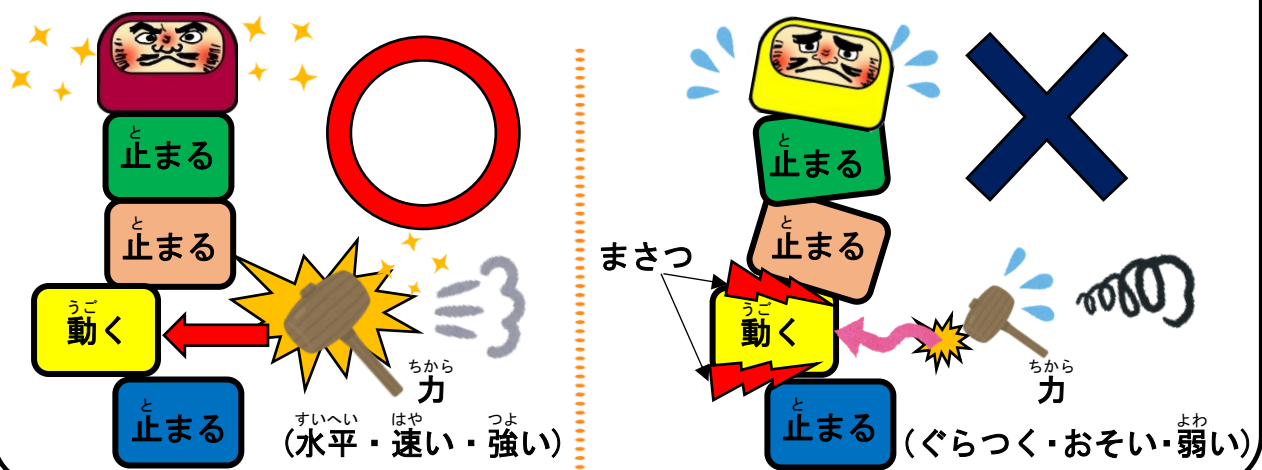
むずかしそうに見える遊びですが、実はちょっとしたコツがあります。

だるまおとしのしくみは科学的に『慣性の法則』で説明ができ、理科の授業で取りあげられることもあります。

慣性の法則…「力を加えなければ、止まっている物体はそのまま止まり続け、動いている物体はそのまま動き続ける」

だるまおとしの場合、「打たれたつみき」は力が加わることで動き、「打たれなかつみき」は止まり続けようとしています。ただし小づちで打つ力が弱かったりおそかったりすると、つみき同士が接する面でのまさつによって引っ張られて、全体がくずれてしまいます。うまく打つにはコツをつかんで思いきりたたくことが大切です!

※2 まさつ…ふれ合った物体がこすれる時に、動きをさまたげる力がはたらくこと。



昔のおもちゃには何度も練習して体を動かし考えながらコツをつかみできるようになる技や遊びがたくさんありました。今のゲーム機のようにボタン一つで技は決められませんが、達成感やねばり強さ・バランス能力等の大切な力も得られる昔のおもちゃでぜひ遊んでみてくださいね!

参考 『イラストで見るモノのうつりかわり日本の生活 百科5折る道具・遊ぶ道具・索引』河出書房新社 1998年 他

「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。
「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>